

---

# ローケットは二度笑う。

竹

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ロークアットは二度笑う。

### 【Nコード】

N9874X

### 【作者名】

竹

### 【あらすじ】

大谷さん中心にちよこちよこ書く予定。  
予定は未定なんてよく言ったものですね。

どんなキャラ崩壊でもばっち来いなお姉様方、心が女性の旦那様方、  
ご賞味あれ…

パーマグラネットに囁いて。

大谷さんとみんなでキスネタ

髪

豊臣秀吉×大谷吉継

「髪にも香を染み込ませたのか？」（貴様の香りが離れない）

髪（思慕）

額

竹中半兵衛×大谷吉継

「少しは休んで。ね？」（君も幸せになれるんだよ）

額（祝福）

臉

真田幸村×大谷吉継

「大谷殿は石田殿のことをよく見て居られるでございませぬ。」（某のこととは見ないのに）

臉（憧憬）

耳

松永久秀×大谷吉継

「卿は、自分の幸せを願うことはないのかね？」（わたしが叶えてあげようか）

耳（誘惑）

鼻

宮本武蔵×大谷吉継

「へっへーん！俺様のが鼻高い〜！〜いえーいっ」（気にしてるところも可愛いなあチキシヨ〜）

鼻梁（愛玩）

頬

前田利家×大谷吉継

「こんなところにまつご飯が！」（貴殿と食べる飯はうまい）

頬（親愛）

頬2

まつ×大谷吉継

「あれ、ご飯粒が。」（貴方様の笑顔でまつもお腹いっぱいになるのでございます）

頬2（満足感）

唇

（鏡の中の）大谷吉継×大谷吉継

「ヒ、ヒ…ぬしなぞ、誰も愛さぬ。」（泣くなナクナ、我が慰めてやる）

唇（愛情）

喉

織田信長×大谷吉継

「余以外と交わす言葉があると申すか。」（いっそのまま食い干切ってしまいたい）

喉（欲求）

首筋

伊達政宗×大谷吉継

「蝶と竜か、悪くねえ。」（今からお前は俺のもんだ、you s e e ? ）」

首筋（執着）

背中

最上義光×大谷吉継

「次逢えたなら、我輩は君の名を呼ぶよ。」（だからこれが夢でないと思いたい）

背中（確認）

胸

石田三成×大谷吉継

「刑部、どこにも行くな。」（離れるな、ずっとだ。この先未来永劫、私は貴様と共に在る）

胸（所有）

腕

前田慶次×大谷吉継

「アンタが恋してる話は、あんまり聞きたくねえんだ。」（しがみついて格好悪くても、アンタが好きだと言いたかった）

腕（恋慕）

手首

大友宗麟×大谷吉継

「貴方も愛を知るべきです。」（そして僕を受け入れて）

手首（欲望）

手の甲

風魔小太郎×大谷吉継

「…」（お疲れ様です）

手の甲（敬愛）

掌

徳川家康×大谷吉継

「刑部も天下も三成も、なんて…ワシは虫が良すぎるな。」（今だけその手の中で泣かせて）

掌（懇願）

指先

## パンプキンの憂鬱。

大谷さんとお菓子と悪戯

伊達政宗の場合

「Trick or treat?」(菓子が無いならアンタを食  
う)

真田幸村の場合

「と、とりつく…お、あ…鳥?」(よくは分からぬが、団子を貰え  
たでござる)

徳川家康の場合

「トリック・アンド・トリート」(ワシはお菓子と刑部が欲しい)

石田三成の場合

「刑部」(菓子はいらん貴様を寄こせ)

長曾我部元親の場合



「Trick or treat?」「あてっ、ちょ、豆は投げんじゃねえっ!」

毛利元就の場合

「Trick or treat」(餅か。悪くないな)

前田慶次の場合

「えーっと、Trick or treat?」「え、もう食っちゃった?」そ、れは食べても良いってことには…」

黒田官兵衛の場合

「Trick or keyだ!どうだ刑部、小生は賢いだろう!」(鍵がなきゃお前さんと食っちゃまっぞ)

パンプキンの憂鬱。(後書き)

みっちゃん、せめてTrick or treatは言おう…!!

わりと皆さんのつてくれます。若干間違ってている人と悪戯目的な人が多いのは気のせいです。(刑部目的の人も多すぎますね！)

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9874x/>

---

ローケットは二度笑う。

2011年10月28日17時02分発行